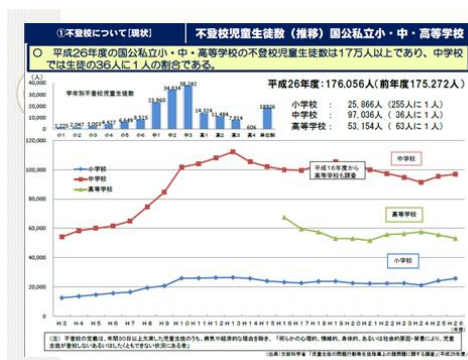


子ども家庭応援ワーカー養成講座 2017 報告書

平成29年9月4日(月)18:30から NPO ボランティア交流センター「あすみんセミナーーム」で行われた「子ども家庭応援ワーカー養成講座 2017」に講師として参加してきました。この講座は、子どもの貧困や児童虐待が深刻化する中、NPO法人ワーカーズコープ九州沖縄事業本部(福岡市)が、子ども支援に携わるボランティアの養成講座を5月から14回にわたって開催した中のひとつです。

子どもを取り巻く社会状況や全国の先駆的な取り組みを学び、それぞれの地域で活動してもらうことを目指している。ワーカーズコープが市の委託で虐待防止や育児支援に携わる中で、市民がもっと子ども食堂や無料塾などの地域活動に関わり、子どもに目配りしてほしいと昨年初めて開催。今回は2回目になる。私は「不登校の子どもたちと進路状況」というテーマで不登校を取り巻く様々な現状を話してきました。

不登校とは子どもが学校に行けないという減少であって、その原因は貧困・発達の課題・いじめ・コミュニケーションの課題・低学力・・・など様々です。単なる子どものわがままや怠けではないことがほとんどです。子どもを取り巻く様々な課題がすべて解決すればそのような問題もなくなるのでしょうか。そんなに簡単なものではないでしょう。但し不登校という状態は本人にとって不利益なことに代わりはありません。学習の場や機会を奪われ自尊心も低くなってしまいます。直面する最大の課題はその進路保障にあります。そのあたりに話の中心を据えてお伝えしてきました。



不登校生の中学卒業後の進路情報

進路①: 出稼が前提となっている学校種	進路②: 出稼が前提となっていない学校種
<ul style="list-style-type: none"> ① 全日制普通高校 ② 公立高校(国立、工専などを含む) ③ 私立高校 - 全寮制高校 ④ 定時制高校 ⑤ 公立高校(昼間通学・夜間通学) ⑥ 私立高校(昼間通学・夜間通学) ⑦ チャレンジスクール(専ら高校) ⑧ 単位制高校(全日制・定時制) ⑨ 公立高校 - 私立高校 ⑩ インターナショナルスクール(日本にある海外の学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 通信制高校(夜間校・地域校、学年制・単位制) ② 公立高校 ③ 私立高校
<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 高等専修学校・大学入学者枠枠外指定校 ⑫ 技能連携校 - 企業内学校 ⑬ 各種学校・無認可校(英会話学校・ベトナムスクール等) ⑭ 職業訓練校(高等技術専門学校) ⑮ 技能を継ぐ(伝統的工芸職人などをめざす) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 技能連携校 ② サポート校 ③ 高卒程度認定試験予備校(旧大検予備校) ④ フリースクール ⑤ 日本の学校が海外に設置する日本校 ⑥ 通称の高校 ⑦ 留学習得

※そのほかの進路... 途中転入・編入/高卒程度認定試験/高校再受験/留年

文科省が実施した不登校生の卒業後の実態調査①前回(平成5年度不登校生→平成13年8月調査)と②今回(平成18年度不登校生→平成23年10月調査)を比較しながら、不登校を経験した生徒の義務教育終了後の進路についての話。また、その中心となる通信制課程(単位制)高校のシステムの特徴など結構、多岐にわたったと思います。

今、何ができるかを整理してみよう。今できないことはやらない、今できることはやる。そしてこれは自分が決める。なにが出来て何が出来ないのか。それをもう一度整理し直してみる。今できないことが一生できないということもない。不登校=何もできないというわけではないいつまでもこのままということもない。

